

遺愛女子高等学校が全国クルーズ活性化会議総会にて 「クルーズホスピタリティ賞」を受賞

北海道開発局 函館開発建設部

7月16日(木)に山口県下関市で開催された全国クルーズ活性化会議の総会において学校法人遺愛学院遺愛女子高等学校が「クルーズホスピタリティ賞」を受賞しました。

「クルーズホスピタリティ表彰」は、新たな取り組みとして今年度創設され、クルーズ船の寄港・出港時における歓迎などの取り組みが地域社会の活性化や優れたホスピタリティとして評価された団体を対象に表彰するものであり、一般社団法人日本外航客船協会(JOPA)、日本国際クルーズ協議会(JICC)からそれぞれ推薦を得た茨城県大洗高等学校(マーチングバンド部)、学校法人遺愛学院遺愛女子高等学校の2校が受賞しました。

遺愛女子高等学校は、2007年から長年に渡りクルーズ船受入に際し乗船客への温かいお出迎えや外国語による地域案内等のホスピタリティあふれるボランティア活動を通じて寄港地の魅力向上とクルーズ振興に多大な貢献され、その活動は若い世代による地域交流の模範でありクルーズを通じた地域活性化にも寄与するものとして評価されました。

表彰式には、井本晴雄校長と高校3年生英語科の寺澤詞野さんが出席され、寺澤さんはクルーズ船のお客様との交流やおもてなし活動を通して学んだこと、地域とのつながり、そして英語を実践的に活用する喜びについてスピーチを行いました。



表彰式の様子



表彰された遺愛女子高等学校の井本校長と生徒代表の寺澤さん

